

NEW アクアトランスファ®

アクアトランスファの大幅な改良により、Newアクアトランスファが誕生しました。目詰まりのない構造を追求すると共に、大胆なコンパクト化を実現しました。気体チャンバー部の構造の改良により、SS (suspended solids) など、異物の多い場所での使用にも十分に耐えることができるようになりました。

また、投込みタイプ、インラインタイプのどちらでも使用できるように、吐出部にもネジをつけています。

目詰まりからの解放

水の入口から、水と気体の衝突点までの流路を同一口径にしたため、異物の詰まる部分がありません。

また、気体が水と衝突するエリアへの空気の流れを水の流路と平行にしたため、水に含まれる異物が気体チャンバー内に混入し難い構造※1になっています。

※1 ノズルを長時間装置を停止する場合は、水中から引き揚げておいてください。水中に浸漬した状態で長時間停止した場合、異物の侵入やノズル内部での微生物の繁殖による目詰まりの原因になることがあります。

コンパクト設計

内部構造を見直し、旧アクアトランスファと比較して、体積比で約50%※2のスリムな形状になりました。また、質量も軽くなったため、狭い場所にも容易に設置できます。

※2 EWN10RLとMWN10RLの比較

腐食に強い

標準品の材質は、腐食に強いステンレスSUS316を採用しています。また、海水など腐食性の強い液体を扱う場合は、テフロン (PTFE) 製も用意しています。腐食がご心配の場合は、ご相談ください。

再現性ある運用

付属の空気供給装置により、誰が使用しても、いつも同じ条件で使うことができます。

真空ゲージを見ながら、多回転ニードル弁を微調整することで、常に安定した一定濃度のマイクロナノバブルを発生させることができます。

機種

口径により、EWN05RLからEWN50RLまで6種類を用意しています。また、材質についてもステンレス (SUS316) 製のほか、樹脂製の製品にも対応しています。



EWN05RL



EWN10RL



EWN20RL

仕様

NEWアクアトランスファノズルには、口径により6種類のノズルを標準機種として用意しています。

項目	型式	EWN05	EWN10	EWN20	EWN30	EWN40	EWN50
流体通過径	(mm)	5	10	20	30	40	50
材質		SUS316又は樹脂					
吐出水量	(L/min)	30	80	250	520	920	1500
圧力損失	(MPa)	0.15以上					
最大吸気量	(L/min)	12以上	25以上	75以上	150以上	270以上	450以上
接続口径	水：入口	15A(R1/2)	20A(R3/4)	40A(R1・1/4)	50A(R2)	80A(R3)	100A(R4)
	水：出口	15A(R1/2)	20A(R3/4)	40A(R1・1/4)	50A(R2)	80A(R3)	100A(R4)
	気体：入口	6A(1/8Rc)	6A(1/8Rc)	8A(Rc1/4)	15A(Rc1/2)	20A(Rc3/4)	25A(Rc1)
外形寸法	(mm)	φ21×L107	φ33×L134	φ50×L223	φ62×L255	φ89×L396	φ120×L498
重量	(kg)	0.5	0.72	2.5	5.5	9.8	15.8

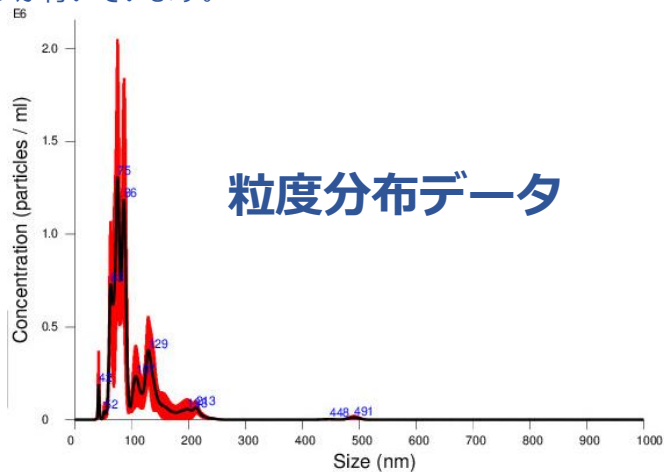
※ 材質については、ステンレスSUS316を標準にしていますが、樹脂製品も取り揃えています。

※ 吐出水量と最大気体吸気量は、使用するポンプの能力により変動します。ポンプの選定はご相談ください。

ガス コントローラ

NEWアクアトランスファノズルは、内部に加圧水を通過させ、ノズル内部に負圧域をつくりだし、気体を自吸する構造です。この時、多回転ニードルバルブを全開にしておくと、大量の気体を吸引するため、マイクロナノバブルだけでなく比較的粒径の大きな気泡も発生します。そのため、多回転ニードルバルブを絞ることで、発生するマイクロナノバブルの粒径と濃度を微調整するための装置が“ガス コントローラ”です。

ガス コントローラには真空ゲージを観ながら、必要な気体供給量に微調整することができます。また、気体吸引部には、異物の混入を防止するためのエアフィルタが付いています。



- ※ 気体流量計を組み込んだタイプもあります。
- ※ オゾンや純酸素に対応するガス コントローラも用意しています。

[改良などにより仕様等を変更することがあります]